京都大学教育研究振興財団助成事業
成　果　報　告　書

令和5年　6月　28日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長　藤　　洋 作　様

所属部局・研究科　　医学研究科　臨床免疫学

職 名・学 年　　研究生

氏　　名　　上月　友寛

助成の種類	**令和５年度　・　国際研究集会発表助成**		
研究集会名	欧州リウマチ学会2023/EULAR Congress 2023		
発表形式	□ 招待　・　□ 口頭　・　■ ポスター　・　□ その他（　　）		
発表題目	“The QRISK3 classified more Japanese systemic lupus erythematosus (SLE) patients as high risk of atherosclerotic cardiovascular disease (ASCVD) when compared to the Hisayama study score”		
開催場所	Mico convention center (Italy, Milan)		
渡航期間	2023年　5月　30日　～　2023年　6月　5日		
成果の概要	**タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版１枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料　■ 無　□ 有（　　）**		
会計報告	交付を受けた助成金額	350,000 円	
	使用した助成金額	350,000 円	
	返納すべき助成金額	0 円	
	助成金の使途内訳（差し支えなければ要した経費総額をご記入ください）	費目	金額（円）
		航空運賃	143,754
		宿泊費	10,182
		滞在費	90,470
		学会参加費	42,449
		その他	63,145
		以上に助成金を充当	
当財団の助成について	（今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。） この度の上記事業参加にあたりまして助成金交付頂き誠にありがとうございました。これを励みに学術研究活動に研鑽致す所存です。		

成果の概要

報告者：上月　友寛
大学院医学研究科　臨床免疫学　研究生１年

貴財団による国際研究発表助成について、下記の通り成果概要を報告いたします。

成果の概要

今回、私はイタリアのミラノで開催された欧州リウマチ学会に参加し、最終日にポスター演題である「The QRISK3 classified more Japanese systemic lupus erythematosus (SLE) patients as high risk of atherosclerotic cardiovascular disease (ASCVD) when compared to the Hisayama study score.」を発表させていただきました。コロナ禍を経ての規制が緩和された現地開催であったためか初日から非常に多くの参加者で賑わっていました。最終日は欧州リウマチ学会の専門医試験が同日開催されている影響もあってか前 3 日間と比較するとやや参加者は減った印象はありましたが、それでもポスタービューイングの時間になると閲覧に来る人が増え始めました。コロナ前と違い、ポスター発表はすべて E-POSTER 形式で事前に提出されたポスタースライドを会場のタッチパネル対応の TV スクリーンで自由に表示・閲覧することが可能でした。ポスター用紙を付け外す必要がなく大変便利になっていました。一方で、自由に閲覧できるためポスタービューイングの時間帯に限って見に来る必要性が必ずしもないのではないかと懸念していましたが杞憂でした。今回の国際学会参加にあたり 5 人以上の海外の研究者・臨床医と自身の演題について議論することを目標としていました。結果は目標を上回る人数の方々に閲覧いただき議論する機会が得られました。中でも印象的だったのは私が演題発表に際して引用していた文献の著者と直接お話する機会が得られたこと、QRISK3 の開発国であるイギリス出身の演者が私の隣で発表されており私の演題に非常に興味を持ってくれたことです。またどの方も質問が実臨床を意識した本質的な内容ばかりで非常に有意義でありました。国内の学会と違い、国際学会ではよりグローバルな視点や意見を持った参加者と議論する機会が得られ自身の演題を論文化するに際しての試金石として非常に有用であると感じました。今回の国際学会を通して改めて世界に発信できるような学術研究を今後も継続していきたいと感じ、モチベーションの向上につながったと思います。

謝辞

本学会に参加するにあたり、貴財団よりご支援頂き、多くの研究者と活発な議論をする機会を頂けたことに深く感謝申し上げます。